

最近における潜水事故の 傾向・特徴

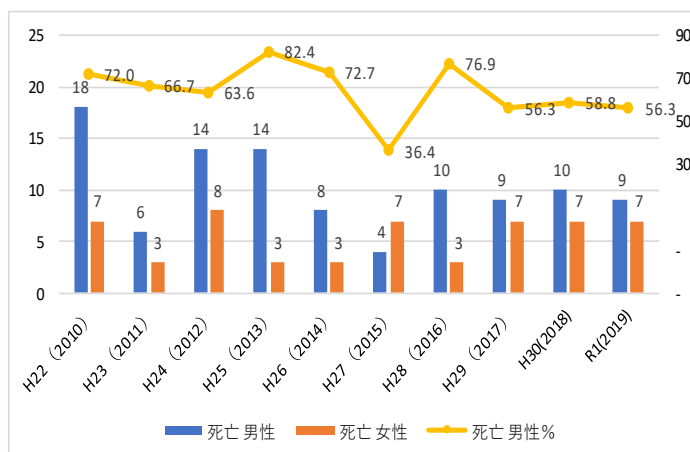


DAN JAPAN RESEARCH

ここ 10 年から 15 年間における潜水事故の傾向・特徴は、次のとおりです。

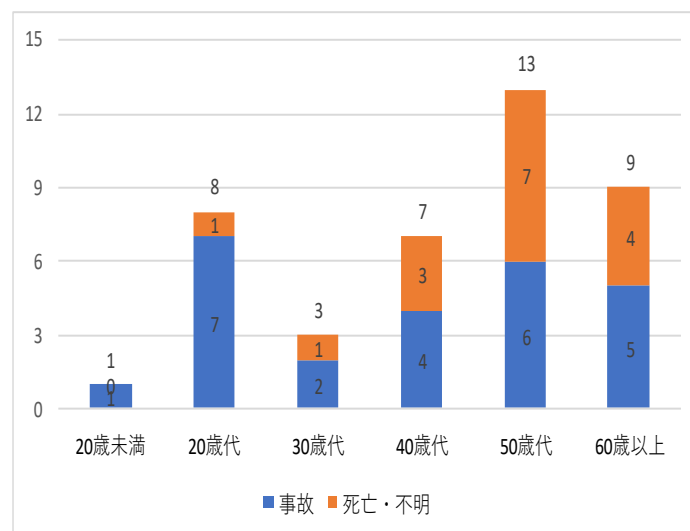
1. 死亡・行方不明に占める女性の割合が増加

過去 10 年間における死亡・行方不明者の総数は男性 102 名 (65.0%)、女性 55 名 (35.0%)。一方、最近 5 年間においては、男性 42 名 (57.5%)、女性 31 名 (42.5%) となっており、女性の割合が 7.5 ポイント増加している。



2. 中高年ダイバーによる事故が多い

2019 年の事故については、50 歳以上が占める割合は、全体の 53.7% で、この内、死亡・行方不明では 50 歳代以上が 68.8% を占めている。



3. 初心者(経験なし)の事故が激増

ダイビング経験のない初心者による事故については、2006 年から 2010 年の 5 年間では、全体の 7.4% であったものが、2015 年から 2019 年の 5 年間では、これが 21.1% となっており、13.7 ポイントの増加となっている。

	2006-2010	2015-2019
経験なし	18	47
経験あり	224	176
合計	242	223

※ 注意喚起の資料としてご活用ください。